

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		教育総務課		政策係・学校施設係		No	1	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		1 教育環境の整備	
事業名	開かれた学校づくり推進事業							
予算費目	款	10	教育費		項	1	教育総務費	
	細目	1	指導研究費		細々目	13	開かれた学校づくり推進事業	
事務区分(根拠法令)		自治事務			()		予算種別	継続
							継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
社会環境の急速な変化により、子ども達を取り巻く家庭、地域社会に様々な問題が生じている中、保護者や地域に信頼される学校づくりが求められている。そうした中、平成17年度より「学校支援ボランティア」の導入により「開かれた学校づくり」の推進を図っているところがある。また、本事業と並行して、市内7校が「学校支援地域本部事業」に参加し、文部科学省の支援を受けボランティアを活用した学校支援を行っている。今後は、事業内容を充実させて継続させていくとともに「学校支援地域本部事業」との事業展開を考えていく必要がある。		市内小中学校を対象に、以下4項目を目的とするものである。①教育活動に対する理解が深まり、地域社会から支援される学校づくりにつながる。②多くの地域住民に来校していただくことにより、安全面について地域ぐるみで学校を守っていくことにつながる。③教科指導の個別指導などに活用することにより、基礎基本の定着を図っていくことができる。④地域住民にとっても、「学校支援ボランティア」として児童や生徒と接し、自己の力を発揮することによって、生きがいを感じる機会を得ることが出来る。		①ボランティアの募集及び登録を行い、ボランティア活動保険に加入する。②ボランティアリストを作成し、学校に配布する。③各学校において、ボランティアリストに掲載された方に活動を依頼し、実施計画書を作成し教育委員会に提出する。④事業終了後に実施報告書を作成し教育委員会に提出する。	
活動指標			成果指標		
事業実施に要する予算額			学校支援ボランティア配置学校数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
72,000(円)		47,654(円)		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
10(校)		10(校)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	20	10,694	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	役務費	52	36,960		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	72	47,654
合計		72	47,654	合計		72	47,654
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ボランティアの配置等は学校が行っているためその業務が負担になっている。	学校支援地域本部に移行することによりコーディネーターによる采配が可能となる。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	H24から学校支援地域本部事業に移行する予定。
-----	-------------------------

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		教育総務課		政策係・学校施設係		No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		1	教育環境の整備
事業名	小中学校教育系ネットワーク保守事業							
予算費目	款	10	教育費		項	2	小学校費	
	目	1	小学校教育振興費		細々目	4	小学校教育用コンピュータ整備事業費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
合併以降も旧市町の教育系ネットワークをそのまま利用していたが、平成21年度に山陽地区と小野田地区のネットワークを統合している。		すべての学校で同じ条件でネットワークが利用できるよう保守、障害対応をしていく必要がある。		定期的な実地検査、ネットワーク管理ソフトによる常時の保守、遠隔操作等による作業を随時行っていく。	
活動指標			成果指標		
教育系ネットワーク接続学校数			システムのスムーズな稼働率		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
19(校)		19(校)		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
100(%)		100(%)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,733	2,733,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	1,288	1,287,300		県支出金 ()		
	使用料及び賃借料	538	537,495		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		4,559	4,557,795	
合計		4,559	4,557,795	合計		4,559	4,557,795
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
業務内容が専門的であるために教育委員会職員のみで保守を行っていくことは難しい。	業務の一部を市長部局に移管又は業者委託等を進めていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		教育総務課		政策係・学校施設係		No	3	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		1 教育環境の整備	
事業名	小中学校教育系ネットワーク整備事業							
予算費目	款	10	教育費		項	2	小学校費	
	細目	1	小学校教育振興費		細々目	4	小学校教育用コンピュータ整備事業費	会計種別 一般会計
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
現在、市内の各学校の職員室には、教員が自由に使える安定したPC(OSが2000pro又はXP)は職員室に平均1台しかないため、多くの先生方は仕事上の必要性から仕方なく個人PCを学校に持ち込んでいる。この場合、個人PCのOSやセキュリティ対策はまちまちであり、ソフトも制限できないため、また個人情報を家に持ち帰る可能性があるため、情報セキュリティ上の危険性(ウイルスの侵入、個人情報の流出)を常にはらんでいる。		教員1人につき1台の校務用PCを配布し、個人PCの持込を抑制することで、情報セキュリティを向上させた。		教員用PCを配布するとともに、ハードディスクで暗号化できるUSBメモリの導入、情報を一元管理するためのセンターNASを導入し個人情報の保護を図る。	
活動指標			成果指標		
教員用PC台数			個人情報漏えい件数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
368(台)		425(台)		0(件)	
				0(件)	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	備品購入費	35,879	35,878,500	財(源割内訳)	国庫支出金()	35,879	35,878,500
	使用料及び賃借料	722	721,980		県支出金()		
					地方債()		
					その他()		
			一般財源()		722	721,980	
合計		36,601	36,600,480	合計		36,601	36,600,480
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
教員の校務用パソコンを整備したことにより、個人情報の保護はかなり図られた。ただし、児童生徒用のパソコン教室のパソコンは依然として古いままであり、ウイルス等に感染する危険性が高い。	今後計画的年次的に小中学校のパソコン教室のパソコンの整備を進めていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		教育総務課		政策係・学校施設係		No	4	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		1	教育環境の整備
事業名	学校施設改修事業							
予算費目	款	10	教育費		項	2,3	小学校費・中学校費	
	細目	1	小学校建設費・中学校建設費		細々目	4,1	小・中学校施設改良補修事業費	目 3 学校建設費
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内一円に小・中学校を設置して以来、良好な教育環境の確保と時代の変化に対応するため、学校施設の改修を行っている。施設・設備の老朽化や社会情勢の変化などにより、改修による機能の回復と向上が求められている。		時代の変化に対応した、安全で快適な教育環境を確保するため、学校施設を適切な状態に改修する。		学校の要望等を踏まえ、学校施設の効率的・効果的な改修を行う。	
活動指標			成果指標		
改修に必要な予算額			不良箇所・機能向上必要箇所の改修件数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
9,580,000(円)		9,571,915(円)		64.4	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	9,580	9,571,915	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		9,580	9,571,915	
合計		9,580	9,571,915	合計		9,580	9,571,915
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,840,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
経常的な予算では対応できない大がかりな改築が必要なものもたくさんあり、それらはなかなか対応が困難である。	学校施設全体の改修計画を立て、計画的に行っていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	教育総務課	政策係・学校施設係	No	5
-----	-------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備			
事業名	学校施設管理事業								
予算費目	款	10	教育費	項	2,3	小・中学校費	目	1	学校管理費
	細目	1	小・中学校管理費	細々目	1	小・中学校一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
市内一円に小・中学校を設置して以来、良好な教育環境を確保するため、学校施設の管理運営を行っている。建物や設備の保守点検は適切に行っているが、老朽化が進んでおり、補修が必要なものが数多くある。	安全で快適な教育環境を確保するため、学校施設を良好な状態に保持する。	学校施設の日常の保守点検は学校や専門業者に依頼し、老朽化等により修繕を要するものは安全性の確保など優先度の高いものから補修する。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
運営に要する予算額		維持管理達成率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
194,658,000(円)	190,967,965(円)	100(%)	100(%)	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	115,354	113,192,865	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	9,220	8,606,141		県支出金 ()		
	委託料	49,809	49,302,752		地方債 ()		
	備品購入費	5,976	5,837,212		その他 ()	2,881	2,619,000
	その他	14,299	14,028,995		一般財源 ()	191,777	188,348,965
合計		194,658	190,967,965	合計		194,658	190,967,965

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.8	5,024,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
学校施設を適切に維持管理しているが、老朽化により修繕の必要な箇所が多く、補修が不十分となっている。	学校施設全体の改修計画を立て、計画的に行っていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	教育総務課	政策係・学校施設係	No	6
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
14 意欲のある人づくり	2 義務教育の充実	1	教育環境の整備	
事業名 学校放送設備更新事業				
款	10 教育費	項	2,3,4 小・中学校費・幼稚園費	目
1	小・中学校管理費・幼稚園運営費	細々目	1 小・中学校施設改良費・幼稚園運営費	会計種別
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別
				継続
				臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
放送設備は、大規模な学校施設の中で安定した学校運営をするために欠かせない設備である。小・中学校・幼稚園の全19校のうち、5校・1園で昭和期に製造された放送設備が使われており、老朽化が進んでいる。	正常な学校運営に回復させるため、修理不能な放送設備を更新する。	部品の生産が中止され、修理できない放送設備を更新する。	
活動指標		成果指標	
更新に要する予算額		放送設備において支障なく運営できた小・中学校・幼稚園数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
213,000(円)	212,100(円)	20(校・園)	20(校・園)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	213	212,100	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	213	212,100
合計		213	212,100	合計		213	212,100
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
徐々に古い放送設備は無くなっているが、古いものが残っており、故障して修理できない場合、音声途切れるなど、正確な放送ができず、学校運営に大きな支障を来す。	全小中学校・幼稚園について、全体的な整備計画を策定し、それに基づき整備を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	教育総務課	政策係・学校施設係	No	7
-----	-------	-----------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備			
事業名	学校遊具整備事業								
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	3	学校建設費
	細目	1	小学校建設費	細々目	4	小学校施設改良補修事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
遊具は体育の授業や休憩時間の遊びに使われており、子どもたちの日々の学校生活に欠かせない設備となっている。危険予知能力がまだ十分備わっていない児童が使用するため、事故防止のための安全基準が厳しくなっている。	子どもたちの健やかな心身の発達を助けるため、遊具を整備する。	体育の授業や遊びの視点から、各学校共通で設置すべき遊具を選定し、学校規模や設置状況を比較検討し、設置の優先度が高い学校から順に遊具を設置する。	
活動指標		成果指標	
遊具整備に要する予算額		体育の授業や遊びに必要な遊具のうち整備率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
2,812,000(円)	2,811,385(円)	100(%)	100(%)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,812	2,811,385	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,812	2,811,385	
合計		2,812	2,811,385	合計		2,812	2,811,385
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	教育総務課	政策係・学校施設係	No	8
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
14 意欲のある人づくり	2 義務教育の充実	1	教育環境の整備	
事業名	学校施設「緑のカーテン」設置事業			
予算費目	款	10 教育費	項	2 小学校費
	目	1 学校管理費	細々目	1 小学校一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()		予算種別	継続 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
地球温暖化により、夏季になると教室内は早朝から非常に暑くなるようになり、子どもたちや教職員に大きな負担が掛かるようになったため、対策が必要となった。	子どもたちや教職員の心身の負担を軽減し、授業へ集中できる環境を作るため、教室内の温度を下げる。	地球温暖化防止対策も兼ねて、環境にやさしい「緑のカーテン」を小学校に設置する。	
活動指標		成果指標	
実施に要する予算額		緑のカーテンの設置小学校数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
500,000(円)	436,265(円)	7(校)	7(校)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	500	436,265	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		500	436,265	
合計		500	436,265	合計		500	436,265
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
緑のカーテンに取り組んでいるのは高千帆小、小野田小、須恵小、有帆小、赤崎小、本山小、津布田小の7小学校で、小学校での実施率は53.8%である。さらに実施率を上げるには、各学校に主体性を持って取り組んでもらうことが必要であり、人的支援や金銭的援助が必要な難しい課題を抱えている。(参考:竜王中、埴生幼稚園でも実施)	予算確保や人的支援体制の確立に努める。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備			
事業名	心ときめき教室開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	指導研究費
	細目	1	指導研究費	細々目	1	学習方法等の充実関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
次代を担う児童生徒の創造性や主体性、社会性及び豊かな人間性を育成するために、豊富な知識や経験、技術を有する保護者や地域の人々を、学校の教育活動協力者として依頼し、教育活動をより多彩で活発にすることをねらい(事業目的)として開始。		児童生徒の創造性や主体性、社会性及び豊かな人間性を育成する。		教諭の協力のもと、豊富な知識や経験、技術を有する保護者や地域の人々による授業を行っている。	
活動指標			成果指標		
こころときめき事業数			授業を受けた児童生徒数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(A/B)	
63(事業)		63(事業)		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	500	351,900	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	300	191,937		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		800	543,837	
合計		800	543,837	合計		800	543,837
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.15	942000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
特になし。			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当		
その他	児童生徒の「生きる力」を養成することが課題となっている現在、本事業の意味は大きく、継続して実施することが妥当である。		

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備			
事業名	教職員研修補助事業								
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	指導研究費
	細目	1	指導研究費	細々目	4	教職員の資質向上関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平素から教育実践をとおして、地道な研究を進めている教員に国内留学や先進校視察の機会を与え、教育専門職としての資質の向上を図るとともに、本市幼児教育及び学校教育の中核となる人材の育成をはかる必要性があった。教職員の研修補助は県費でも実施されていたが、財政的な理由から平成21年度に廃止された。		市内小中学校の教職員に対し、教育専門職としての資質向上を図るとともに、本市幼児教育及び学校教育の中核となる人材の育成に努める。		園長・学校長から推薦を受けた教員より派遣教員を決定し、毎年度予算の範囲内で派遣費用を補助する。	
活動指標			成果指標		
派遣した教職員数			派遣の結果、教育専門職としての資質向上が図られ学校教育等の中核となり得た教職員数		成果指標の到達度(A/B)
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
7(人)		7(人)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金及び交付金	300	299,936	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		300	299,936	
合計		300	299,936	合計		300	299,936
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
教員の資質向上が叫ばれているにもかかわらず、財政的な理由により、県においては平成21年度から教職員に対する研修補助制度を廃止した。市費単独事業となり、派遣数は毎年10人を割っている。	教職員の資質向上が求められており、本事業をさらに充実させて継続実施していくことが必要。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	3					
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	14	意欲のある人づくり			2	義務教育の充実			1	教育環境の整備		
事業名	学校図書館資源共有型モデル地域事業											
予算費目	款	10	教育費		項	1	教育総務費		目	3	指導研究費	
	細目	1	指導研究費		細々目	14	学校図書館資源共有型モデル地域事業		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()				予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)			事業の内容(対象・目的・意図)			事業実施の手段・手順		
平成13年から3年間、モデル地域に指定され国の補助を受けて旧小野田地区小中学校に学校図書館のデータ化をし、学校間の貸し借りの管理や検索可能なシステムを導入した。			児童生徒の読書への関心度向上と、蔵書共有に伴う書籍選択の拡大を図る。			システム開発業者にシステム保守を委託している。		
活動指標				成果指標				成果指標の到達度(A/B)
保守の執行率				システムのスムーズな稼働(障害の発生件数)				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		100 %
100(%)		100(%)		0(件)		0(件)		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	511	510,300	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	使用料及び賃借料	116	115,500		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()			627	625,800
合計		627	625,800	合計		627	625,800
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
現在のシステムはウィンドウズXPまでしか対応できず、今後の稼働に影響が生じる恐れがある。また、山陽地区には同様のシステムが導入されておらず、市民サービスの公平性を考慮すると、市全域で統一したシステム構築を検討する必要がある。	市全域で統一したシステムを導入する。

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		社会教育課		生涯学習係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	1	教育環境の整備			
事業名	学校支援地域本部事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
国の委託事業として平成20年度から導入された事業。学校活動に対する様々な支援活動を、コーディネータを介して、地域ボランティアを中心に行う。	地域における学校支援活動を通して、教職員の教育活動への専念を促す。	配置したコーディネーターが学校のニーズを受けて、地域ボランティアを派遣する。		
活動指標		成果指標		
地域ボランティア登録人数		実施校数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
500(人)	471(人)	10(校)	8(校)	80%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)		
支出内訳	報償費	4,976	4,473,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()	7,939	6,980,000		
	需用費	1,599	1,599,000		県支出金 ()				
	役務費	405	348,000		地方債 ()				
	その他	959	560,000		その他 ()				
合計	7,939	6,980,000	一般財源 ()						
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計				7,939	6,980,000
		0.15	942,000						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
学校支援ボランティアと事業内容が同じところがある。学校支援地域本部がない所は学校支援ボランティアで対応している。	将来的に市内18小中学校に広げていく必要がある。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		教育総務課		政策係・学校施設係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実			
事業名	教育特区関連事業								
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	指導研究費
	細目	1	指導研究費	細々目	16	教育特区関連事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
近年の子どもたちには情緒の不安定化、我慢と感動の減少、協調性の貧弱化などの傾向がみられるため、幼児期から義務教育終了まで「心を鍛え、脳を鍛える」ことを目的とした取組みを行い、基礎的人格の涵養、知能の発達、学力の向上等を図る。		学習における基礎・基本の習熟や問題行動の解消などを含め、子どもたちの生きる力を育てていく。		小・中学校に「総合基礎科」を新設し、小学校は週3日1時限(45分)、中学校は週5日20分間のモジュール授業を実施する。児童・生徒の各家庭に「早寝・早起き・朝ごはん」を呼びかけ、生活習慣の改善に取り組む。「学校生活に関するアンケート」、「生活調査」、「学力テスト」を実施する。	
活動指標			成果指標		
小・中学校の年間モジュール授業時間数			「生活調査」の「勉強は楽しいですか」の質問で「楽しい」と答えた児童・生徒数の割合		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
小 105(時間) 中 70(時間)		小 105(時間) 中 70(時間)		小46.3 中12.1 %	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
小 100(%) 中 100(%)		小 46.3(%) 中 12.1(%)			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,900	1,884,185	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
	役務費	300	293,580		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	2,200	2,177,765
合計		2,200	2,177,765	合計		2,200	2,177,765
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.2	3,154,080				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
モジュール授業にあてる時間を通常授業の時数内から捻出する必要がある。	学校との協議の中で成果を示しながら、事業継続の必要性を訴え、理解を求めていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	教育総務課	政策係・学校施設係	No	2
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)	
14 意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実
事業名	学校理科教育設備整備事業			
款	10	教育費	項	2,3
目	2	小・中学校費	目	2
細目	1	小・中学校教育振興費	細々目	7,6
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()		予算種別	継続 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
理科教育を通じて、日常生活を合理的に営み、日本の発展に貢献する有為な国民を育てるため、理科教育振興法に基づき、理科教育の振興を図る。	新学習指導要領に定める理科教育を実践できるように、理科教育設備を国が示す整備基準を目標に整備する。	公立小・中学校で行われる理科教育で使用する設備を、国の補助制度を利用して整備する。	
活動指標		成果指標	
理科備品整備に要する予算額		整備基準に対する本市の整備率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
3,755,000(円)	3,754,902(円)	100(%)	23.9(%)
			23.9 %

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	備品購入費	3,755	3,754,902	財(源割内訳)	国庫支出金 (50%)	1,875	1,875,000
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		1,880	1,879,902	
合計		3,755	3,754,902	合計		3,755	3,754,902
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
整備率を上げるには多額の予算が必要であるが、学校数も多くなかなか難しい現状にある。	補助金等の有効な財源を利用し効率よく整備を進める。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実			
事業名	やまぐち学校教育支援員活用促進事業(少人数教育分)								
予算費目	款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
	細目	1	中学校教育振興費	細々目	8	やまぐち学校教育支援員活用促進事業(少人数教育分)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
不登校、いじめ、学校不適応等の問題が深刻な社会問題となる中、山口県独自のきめ細やかな指導体制の充実施策の一環として事業開始したことによる。(県補助事業)		生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導体制を充実することで高校につながる学力向上を図るとともに、生徒指導上の諸課題に対応し個々の夢や希望を育み、その実現に資する。		市内中学校2、3年で36人以上学級を有する、1学年2学級以上の中学校に補助教員(非常勤講師)を配置する。(1学級2名)			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)		
配置した補助教員数			必要な学級数に対する補助教員配置率				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
3(人)		3(人)		100(%)		100(%)	
%							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	役務費	21	20,640	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	8,691	3,860,590		県支出金 (50%)	4,342	1,929,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		4,370	1,952,230	
合計		8,712	3,881,230	合計		8,712	3,881,230
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.25	1,570,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
配置する補助教員は非常勤講師のため勤務日数が少なく、生徒理解や、授業力の向上を図りにくい。	管理職のイニシアティブの下、他の教職員との情報交換を密にし、連携を一層推進することが必要である。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	2					
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)						
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		2 教育内容・方法の充実					
事業名	学校教育振興事業											
予算費目	款	10	教育費		項	2・3	小・中学校費		目	2	教育振興費	
	細目	1	小・中学校教育振興費		細々目	2	小・中学校教育振興費(単独)		会計種別	一般会計		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続		経常			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内一円に小・中学校を設置して以来、学習指導要領に基づく児童生徒の義務教育を着実に実践するため、子どもたちの発達段階に応じた教育課程を組み、創意工夫による授業展開を図ってきている。平成23年度から新学習指導要領が改訂されることになり、的確に対応する必要がある。		児童生徒に対し学習指導要領に基づく適切な義務教育を提供する。これにより、子どもたちの健全な発達を助け、社会の発展に寄与することができる。		子どもたちに「確かな学力」を育めるよう、学習内容の修得に必要な教材や備品などを購入すると共に、指導方法の工夫や教材開発による授業を行い、事後評価して改善を図る。	
活動指標			成果指標		
事業実施に要する予算額			教育振興事業の対象となった児童生徒数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(A/B)	
98,722,000(円)		84,801,837(円)		100	
				%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
5353(人)		5353(人)			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	796	781,442	財(源割内訳)	国庫支出金 ()	35,879	35,878,500
	需用費	17,967	17,289,930		県支出金 ()		
	委託料	15,718	7,220,590		地方債 ()		
	備品購入費	61,408	57,043,110		その他 ()		
	その他	2,833	2,466,765		一般財源 ()	62,843	48,923,337
合計		98,722	84,801,837	合計		98,722	84,801,837
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		3.6	22,608,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
学校教育の振興と充実を図る。	学校教育の振興と充実に係る企画・調査及び研究を推進するとともに、学校に対する指導及び助言を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	決算額は扶助費・繰越明許分を除く。
-----	-------------------

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	2	教育内容・方法の充実			
事業名	ALT招致関連事業								
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	指導研究費
	細目	1	指導研究費	細々目	1	学習方法等の充実関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
国際化に伴い低年齢児から英語に親しむ機会を持たせることが大切であるという機運が高まり、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養うため、英語の授業に外国語指導助手(ALT)を定期的に配置している。		市内小中学校児童・生徒を対象として、外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。		業者と業務委託契約を結び1名のALTを配置している。外国語活動及び英語の授業におけるウオーミングアップ、プレゼンテーション、ドリル、プラクティス等を実施する。また、給食時間や学校行事にも参加し児童生徒と交流を図る。教職員に対する英語研修も実施していく。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)		
ALT配置人数			ALT配置日数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
1(人)		1(人)		185(日)		181(日)	
97.8 %							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	4,500	4,498,200	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		4,500	4,498,200	
合計		4,500	4,498,200	合計		4,500	4,498,200
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成23年度実施の学習指導要領で、小学校5、6年生における外国語活動が必修化されるなど、ALTの必要性が高まっている。しかし、現在のALT1名体制では配置日数がほぼ限界である。	ALTを増員する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	3	学校給食の充実			
事業名	学校給食管理事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	4	給食費
	細目	1	給食費	細々目	1	学校給食管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
学校給食の開始とともに、スタッフ、設備の整備が必要となったが、現在、小野田地区は親子方式、山陽地区は自校方式と形態が異なっている。また、設備も古いため、年次的に大型備品等の更新が必要である。		学校給食を有効に活用することで、児童生徒の健全な食習慣の形成を図り、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身に付け、生きる力を育む。		学校給食の安定かつ安全な提供を図るため調理員の保菌検査や給食設備の維持修繕・点検を実施し提供に必要な物品の購入等を行う。また、就学援助の受給者には、給食措置費として給食代の補助をしている。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)		
給食実施回数			安心・安全な給食の提供(食中毒等の防止)				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
189(回)		189(回)		100(%)		100(%)	
%							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	18,776	17,294,759	財(源割内訳)	国庫支出金 ()	462	462,000
	役務費	1,059	942,275		県支出金 ()		
	委託料	900	900,000		地方債 ()		
	備品購入費	1,710	1,692,683		その他 ()		
	扶助費 他	54,456	53,277,411		一般財源 ()	76,439	73,645,128
合計		76,901	74,107,128	合計		76,901	74,107,128
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.5	3,140,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
各学校とも施設自体が老朽化しており、それに伴い設備の更新が遅れ、毎年、大型備品の破損が生じている。	施設・備品とも計画的な更新が必要である。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	4	学校保健・体育の充実			
事業名	児童生徒・教職員健康診断事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	2	学校保健体育費
	細目	1	学校保健体育費	細々目	1	学校保健の充実関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (学校保健安全法)			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
学校保健安全法第11条、13条、15条に基づき実施するもの。		児童生徒及び教職員を対象に健康診断を実施し、学校における保健管理に務め、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。		学校医及び学校歯科医との委託契約に基づき、内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科について健診を行うとともに、専門業者委託により心電図検査、尿検査等を実施している	
活動指標			成果指標		
健康診断実施回数			児童生徒健診受診率		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(A/B)	
1(回)		1(回)		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	70	45,290	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	役務費	40	32,475		県支出金	()	
	委託料	14,017	13,416,247		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()	14,127	13,494,012
合計		14,127	13,494,012	合計		14,127	13,494,012
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.65	4082000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
各校の定期検診が6月頃までに集中するため、日程調整に困難をきたすことがある。	学校医や委託業者との連携を図り、効率的に実施する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	14	意欲のある人づくり		2	義務教育の充実		4	学校保健・体育の充実
事業名	学校医等設置事業							
予算費目	款	10	教育費		項	6	保健体育費	
	細目	1	学校保健体育費		細々目	1	学校保健の充実関連経費	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (学校保健安全法)			予算種別	継続		経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
学校保健安全法第23条に基づき実施するもの。		学校における保健管理に務め、児童、生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。		市内各小中学校に、医師会、歯科医師会並びに薬剤師会の協力を得て、内科、眼科及び耳鼻咽喉科の学校医、学校歯科医並びに学校薬剤師を配置し、学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導を仰いでいる。	
活動指標			成果指標		
設置した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の数			学校医、学校歯科医、学校薬剤師配置率		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(A/B)	
60(人)		60(人)		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	15,894	15,894,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
合計	15,894	15,894,000	一般財源		()	15,894	15,894,000
				合計		15,894	15,894,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(千円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
耳鼻科医、眼科医の確保が困難となっている。	医師会との連携を図ると共に、山口大学医学部に引き続き協力を依頼する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	6	特別支援教育の推進			
事業名	やまぐち学校教育支援員活用促進事業(特別支援補助教員分)								
予算費目	款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
	細目	1	小学校教育振興費	細々目	12	やまぐち学校教育支援員活用促進事業費(特別支援補助教員)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
今日、通常学級においてLD、ADHDをはじめ様々な要因により集団生活に适应できない児童が増加しており、学級経営や教室での授業を困難にすると共に、学級崩壊の一因にもなっている。個別指導を要する児童がいる学級の集団指導を一人の担任がするには限界があり、補助教員の配置が不可欠になっている。(県補助事業)		特別な配慮を要する児童への対応やきめ細かな指導体制を充実させ、一人ひとりの児童に集団の中で生活習慣や学習習慣を身につけさせ学級運営の安定化を図る。		通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童が、学校における集団生活の中で、学習習慣や生活習慣を身につけることができるよう、小学校を対象に補助教員(非常勤講師)を配置する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)		
補助教員数			補助教員配置率				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
3(人)		3(人)		100(%)		100(%)	
%							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	役務費	35	20,640	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	5,744	3,360,000		県支出金 (50%)	2,871	1,131,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,908	2,249,640	
合計		5,779	3,380,640	合計		5,779	3,380,640
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
補助教員の配置数については県教委の決定によるものであり、市の希望どおりにならない面がある。	特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向であるが、配置の必要な学校を的確に判断し、継続的・重点的に配置する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		学校教育課		学務係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	14	意欲のある人づくり	2	義務教育の充実	6	特別支援教育の推進			
事業名	就学指導委員会事業								
予算費目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	指導研究費
	細目	1	指導研究費	細々目	1	学習方法の充実関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
教育委員会は障害のある児童生徒それぞれの障害の種類と程度に応じた適正な就学指導を行わなければならない。しかし、就学先の決定については当該児童生徒の生涯にかかわる重要な事柄なので、多くの専門家の意見を集めて慎重に結論を出す必要がある。そのため、医学的、心理学的、教育学的な観点から総合的に判断できるよう、それぞれの専門家から成る就学指導委員会を設置している。		児童生徒の障害の状態や程度に応じた適正な教育によって、その可能性を伸長するためにはどのような就学先が最もふさわしいのかという決定を教育委員会が行うために、就学指導委員会を設置し、その審議・判定結果を参考にしている。		在籍児童生徒を対象にした就学指導委員会を6月と12月に、また、次年度就学児を対象にした就学相談会を11月に開いている。そこでは、専門医や児童福祉施設の職員、特別支援学校教員等15名の委員(任期は2年)が、保護者や学校の意向も加味しながら、適正な就学について審議・判定をしている。そして、その結果をもとにして教育委員会が就学先の決定や学校の指定をしている。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(A/B)
委員会・相談会開催回数			対象者の判定実施率		
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
3(回)		3(回)		100(%)	100(%)
%					

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	9	7,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	旅費	10	3,980		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		19	10,980	
合計		19	10,980	合計		19	10,980
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.4	2,512,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
就学指導に必要な児童生徒は増加傾向であり、個々の障害に応じた適切な就学指導が必要となっている。	医師等の関係者や保護者との更なる連携が必要である。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--